

## 千葉市行動計画【2018年度版】策定の主なポイント

### (1) 東京2020大会に向けたボランティア体制の構築・・・資料2

先行募集した都市ボランティアのリーダー候補者に対し、必要な知識・スキル・経験等を積んでもらうため、各種研修などを行い、第16回世界女子ソフトボール選手権大会を皮切りに活動を行うとともに、その後も、国際大会での実践等を通じて東京2020大会につなげます。

また、ボランティアの育成や体制構築を行い、大会終了後もレガシーとして存続するボランティア文化の醸成を図ります。

### (2) パラスポーツの推進・・・資料3

市内で開催されるパラスポーツ大会において、パラスポーツファンを拡大するためのイベントの実施や、障害者のスポーツ参加の拡大など、障害の有無に関わらずともにスポーツに親しみ交流できる共生社会の実現を目指します。

### (3) オリンピック・パラリンピック教育の推進・・・資料4

市立学校171校が大会組織委員会から「オリパラ教育実施校」として認証を受けたほか、小学校において「東京2020大会マスコット投票」に取り組むなど、大会機運を高めております。

また、市立全小・中学校の授業におけるパラスポーツの実施や、パラリンピック関連の教材を使用した道徳等授業の実施など、多様性や国際理解の力を育むための教育を推進します。

### (4) インバウンド集客の推進・・・資料5

“CHIBA”の認知度を高める効果的な海外プロモーションを実施するとともに、外国人観光客の受入れ環境を整備し、滞在機会を増やすことで、地域経済の活性化を図ります。

### (5) 平成30年度予算等の反映

平成30年度に予算化された事業を、行動計画【2018年度版】に反映しました。